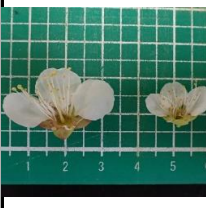
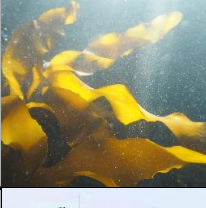


実施試験研究機関名 / 研究テーマ		研究のポイント
農業試験場 TEL:0736-64-2300		育苗期と定植直後のステージに応じた低コストな高温対策技術と適正な栄養管理手法を確立する。 ・温度条件、株の栄養状態と花芽分化の関係解明 ・低コストな高温対策技術の確立 ・高温条件下における栄養管理方法の確立
夏季高温に対応したイチゴ‘まりひめ’の花芽分化遅延防止技術の確立		
果樹試験場 TEL:0737-52-4320		3月以降の流通を可能とするための適切な収穫時期や貯蔵方法を確立するほか、他のウンシュウミカンと識別できる方法(品種識別マーカー)を開発する。 ・出荷期間延長技術の開発 ・品種識別マーカーの開発
ウンシュウミカン‘あおさん’の出荷期間延長技術および品種識別マーカーの開発		
かき・もも研究所 TEL:0736-73-2274		県オリジナル品種‘紀州てまり’の外観品質の低下を招く日焼け及びカキ灰色かび病の発生を抑制する技術を開発する。 ・日焼け対策技術の確立 ・カキ灰色かび病防除技術の確立
カキ‘紀州てまり’の外観品質向上技術の確立		
		誰でも簡単に低樹高樹形による栽培ができるような技術を開発する。 ・新低樹高樹形栽培技術の開発
モモの省力栽培のための新しい低樹高樹形の開発		
うめ研究所 TEL:0739-74-3780		収穫量の安定のために、園地単位で開花時期、不完全花発生の危険度および収穫期の予測ができる技術を開発する。 ・地域別ウメ開花予測技術の開発 ・‘南高’不完全花発生危険度予測法の開発 ・ウメ収穫期予測技術の開発
地域別気象データを搭載したウメ生育予測技術の開発		
林業試験場 TEL:0739-47-2468		メタルラスを用いた低コストかつ環境負荷の少ない植栽苗木の獣害防除技術を開発する。 ・メタルラスの形状等による防除効果試験 ・メタルラスの設置方法、管理方法の検討
建築資材メタルラスを用いた獣害防除技術の開発		
和歌山県産無花粉スギ次世代優良品種の創出	 雄花 無花粉雄花	和歌山県由来の優良無花粉スギの品種登録と次世代花粉症対策品種の創出を行う。 ・無花粉スギ品種登録のための調査及び選抜 ・花粉親の選抜、次世代の創出と遺伝子分析
水産試験場 TEL:0735-62-0940		高水温下でも群落が維持されているカジメの維持要因を明らかにする。 ・維持カジメの高水温耐性の検証 ・維持海域の特異性(物理環境、植食性魚類)の検証
コンブ科藻場造成技術の開発		
表層型浮魚礁におけるカツオ漁獲量予測システムの開発		浮魚礁に集まるカツオの推定漁獲量とサイズ情報を漁業者に提供するシステムを開発する。 ・浮魚礁におけるカツオ来遊実態の把握 ・カツオ漁獲量予測式の作成と漁獲量予測システムの開発
和歌山県河川におけるアマゴの発眼卵放流による増殖効果の解明		和歌山県の河川におけるアマゴ発眼卵放流の増殖効果を解明する。 ・河川の上流域で標識再捕法による調査を実施 ・放流魚の生存率と種苗単価から費用対効果を算出